

## 1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱	強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い			38
	客観性	思考的思慮深い			63
活動型	身体性	機敏な・気軽な			71
	気分性	感情のまま行動			50
努力型	持続性	几帳面・忍耐力			56
	規則性	常識的・順法的			40
積極型	競争性	勝気な・積極的			53
	自尊心	気ぐらいが高い			45
自制型	慎重性	見通しをつける			30
	弱気さ	取越苦労・遠慮			33

■この人の中心性格は「活動型・身体性」および「思索型・客観性」であるが、「努力型・持続性」や「積極型・競争性」といった側面も本人は意識している。

## ●「活動型・身体性」および「思索型・客観性」の人のパーソナリティスケッチ

状況の変化を敏感にとらえることができ、その環境に適応する能力をそなえた行動派タイプといえる。考えるよりも、まずは身体を動かすことで物事を解決しようとしたり、反面、思索的客観的に検討してから判断する2面性を持っているといえる。情緒的にも安定しており、自分なりのリズムをもって生活をしている。手掛けた仕事を途中で放り出すような無責任さは少ない。発想も思い付きばかりではなく、理詰めで堅実なところもあり、非常にユニークなアイデアを出すことがある。感覚的に判断するのではなく、客観的に物事を把握し行動している。また、社会への関心もあり世間に対する配慮もみられる。どちらかといえば、進んでたくさんの交友関係を形成するというより、気の許せる限られた友人との付き合いを大切にすることがある。常に自分を一歩外に置き、人情や感情に左右されない発言をすることがあるため、冷たいという印象を他人に与えてしまうことがあるが、実のところ自身を深く内省していて、豊かな内面性の持ち主といえる。

## ●もう一方の性格特性

自分に自信をもち、胸をはって生きているようである。ただ、見通しをつけるまで動かないという慎重性に欠けるが、思ったことを自分からすすんで実行できるよさもある。劣等感がなく、暗く陰湿なという印象もなく、積極的な人である。

## 2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱	強	指数
対人ストレス耐性			43
目標ストレス耐性			70
繁忙ストレス耐性			65
拘束ストレス耐性			42
総合ストレス耐性			69

## 信頼係数

低 高

回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

## 3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱	強	指数	
積極性			69	自らの意見や提案を出し、率先して実行に移そうとする。
協調性			44	
責任感			51	
自己信頼性			76	自分の意思や行動に自信があり、周囲からも信頼される。
指導性			59	
共感性			40	仲間と協同で何かをするより、独自でできることを好む。
感情安定性			70	多少の事で動揺したりせず、気持ちにムラが少なく安定。
従順性			26	強く命令されたりすると、その相手に対して反感をもつ。
自主性			62	自分で決断をすることができ、自発的に物事を実行する。
モトリウム傾向			33	今の生き方の方向性について、自信をもち安定している。

## 4 どういうことに意欲・やる気をだすか

意欲の側面	弱	強	指数	
達成 欲求			75	困難な目標にも努力し、常に自分を向上させようとする。
自律 欲求			56	
求知 欲求			66	知的好奇心が旺盛で、新しい事や珍しい事を追い求める。
危機 耐性			82	逆境に耐え、苦しいときも我慢づよくやり抜こうとする。
勤労 意欲			72	仕事への意欲があり、生きがいの部分として考えている。
顕示 欲求			68	自分が輪の中心となり、人を楽しませたり興奮させたい。
支配 欲求			49	
親和 欲求			33	世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。
秩序 欲求			47	
物質的欲求			47	

■この人は「苦勞を乗り越え、成長したい」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「対人関係が気になる」系統の欲求群には淡泊な反応である。

## 【キャリア志向】

分類	項目	望まない	少し望む	強く望む	指数
スペシャリスト	自立志向 他人に頼ることなく一人で行動を起こしていく				73
	専門志向 仕事そのものに関心が高く、専門的色彩が強い				53
	自己表現 自分なりの考えを提案し職務に生かしていく				66
ゼネラリスト	評価志向 周囲からの期待に応え、より高い評価を求める				40
	管理志向 的確な指示や命令を与え、組織を統制していく				83
ワークライフバランス	人間関係 仲間との関係を大切にしながら取り組む				72
	公私充実 私生活を充実させることで仕事の意欲を高める				20
	安定志向 変化を好まず安定した組織や生活保障を求める				27

## 【面談時の動機付けポイント】

最高値	<p>●最も数値が高いのは管理志向です。</p> <p>仕事内容や仕組みを総合的に把握し、リーダーとして活躍することに興味があります。ひとつのことを専門的に突き詰めるより、全体を俯瞰的に眺める立場を好むといえます。年齢に関係なく、実力次第でリーダーになれる社風は被面接者へのアピールポイントとなります。面接官自身の仕事内容が変化・拡大していった経験、あるいはリーダーや管理者になるには日ごろの業務で何を意識していたらいいかなど、話してみましょう。早期からリーダーとして活躍する社員の事例があれば、伝えてください。将来像や理想の上司像など確認するとより具体的に本音を聞きだせます。リーダーとしての経験を聞いてみるのもいいでしょう。</p>
次点	<p>●二番目に数値が高いのは自立志向です。</p> <p>どちらかという他人に助けられることは好まず、自分の力で物事を進めていきたいと考えるほうです。一匹狼を好むとまでは言いませんが、上司からすべて指示され、決められた形でしか動けない職場より、自主性を重んじる体制のほうが働きやすいと感じるでしょう。面接官自身に裁量の幅を実感した体験や上司に仕事を任せられたエピソードがあれば伝えるのもよさそうです。興味を持って聞いてもらえます。被面接者に対してはこれまでも自力で現状打破してきたことが多いと思われるので、そうした経験談などを詳しく聞き、今後どのように働いていきたいかなどを確認してみるといいでしょう。</p>

## 【面談時の確認ポイント】

自己信頼性が高く、従順性が低いときは他人の忠告を無視することもありそうだ。 「適性検査の結果によると何事も自分の考えで行動することが多いようですが、他人からの助言を必要だと思いますか」
自己信頼性が高く、モラトリアム傾向が低いときは自分の考えにこだわりがあると思われる。 「適性検査の結果によると自分の考えに自信を持っているようですが、自分ではどう思いますか。また、自分のやり方にこだわりすぎてしまうことはありませんか」
積極性が高く、従順性が低いときは目上の人との関わり方を確認しておく。 「適性検査の結果には強い言い方に反発を感じると出ていましたが、自分ではどう思いますか。これまでの経験で相手の言い分を素直に聞けないのはどういうときでしたか」

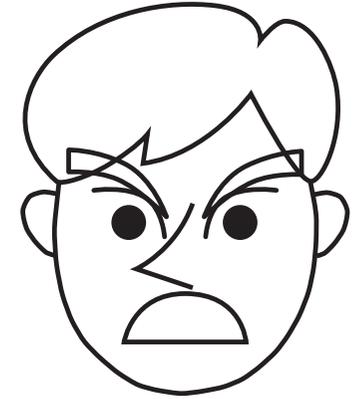
## 【心理要素イメージ】

眉の太さ：指導性  
瞳の直径：達成欲求  
鼻の高さ：顕示欲求  
顔の輪郭：性格類型

眉の傾き：従順性  
目の傾き：達成欲求+求知欲求  
口の形状：親和欲求+協調性

逆三角顔 = 思索型  
エラ顔 = 積極型  
細長顔 = 自制型

丸顔 = 活動型  
角顔 = 努力型



## 【職務適性】

職務名	努力←	→最適
営業（活動タイプ）		
人事		
経営企画		
品質管理		
システム運用・保守		
メーカー生産技術・管理		

## 【設定基準結果】

項目	基準	結果	差	判定結果
内閉性	50以下	38	+12	クリア
身体性	40以上	71	+31	クリア
モラトリアム傾向	50以下	33	+17	クリア
目標ストレス耐性	50以上	70	+20	クリア
繁忙ストレス耐性	50以上	65	+15	クリア
適合度				100%